

口永良部島の火山活動解説資料（平成 21 年 8 月）

福岡管区气象台
火山監視・情報センター
鹿児島地方气象台

GPS 連続観測では、^{しんだけ}新岳火口浅部の膨張を示す変化は認められなくなりました。火山性微動は観測されませんでした。また、火山性地震も少ない状態が続いています。

これらのことから、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められなくなったと判断して、4 日に噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表し、噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 1（平常）に引き下げ、火口周辺警報を解除しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

新岳火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、火口内では噴気や火山ガスの噴出がみられることから、火口周辺では火山灰等の噴出に警戒が必要です。

○ 8 月の活動概況

・噴煙など表面現象の状況（図 3、図 6～8）

遠望カメラ（新岳火口の北西約 3 km）の観測では、^{しんだけ}新岳火口から白色噴煙が時々観測されました。20 日に実施した現地調査では、前回（2009 年 5 月）と比べて新岳火口及びその周辺の状況に特段の変化はなく、新岳南側火口壁で引き続き噴煙活動が認められました。

24 日に第十管区海上保安本部が実施した上空からの観測では、前回（6 月 16 日）と比べて新岳火口及びその周辺の状況に大きな変化はありませんでした。

・地震や微動の発生状況（図 2、図 3）

火山性地震は少ない状態で経過しました。震源は新岳火口直下のごく浅いところに分布し、これまでと比べて特段の変化はありませんでした。

火山性微動は、5 月 23 日以降観測されていません。

・地殻変動の状況（図 3、図 4）

GPS 連続観測では、2008 年 9 月から続いていた新岳火口浅部の膨張を示す変化は、2 月頃から鈍化し、6 月以降認められなくなりました。

この火山活動解説資料は福岡管区气象台ホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/fukuoka/>) や気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 21 年 9 月分）は平成 21 年 10 月 7 日に発表する予定です。

※この資料は気象庁のほか、国土地理院、京都大学及び独立行政法人産業技術総合研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 20 業使、第 385 号）。また、同院発行の『数値地図 25000（地図画像）』を複製しています（承認番号：平 20 業複、第 647 号）。

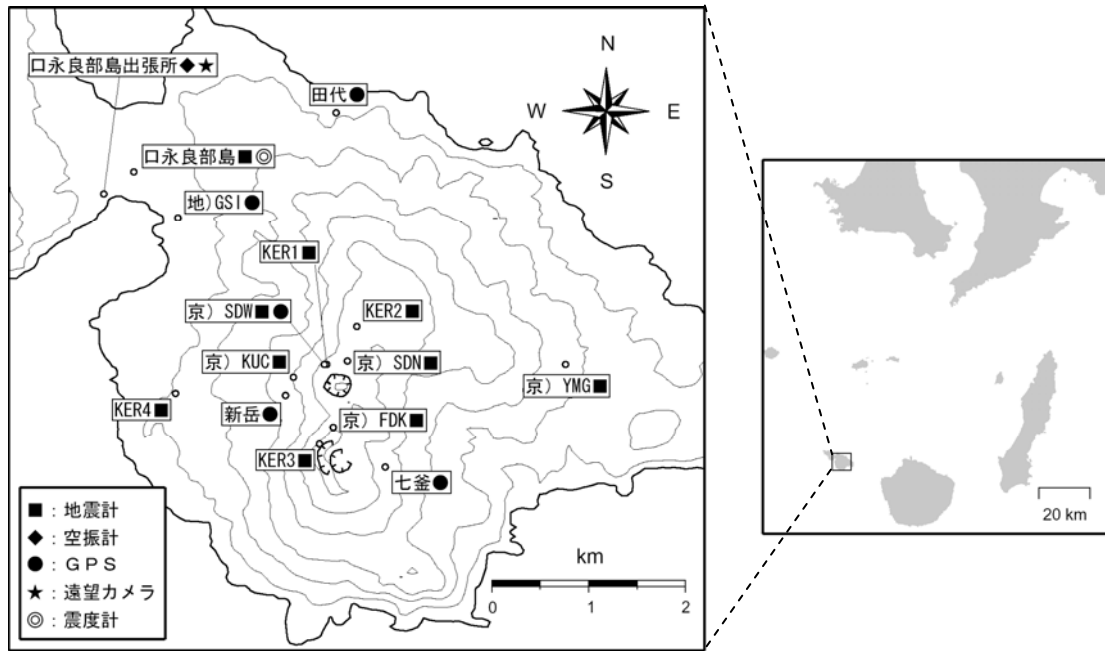
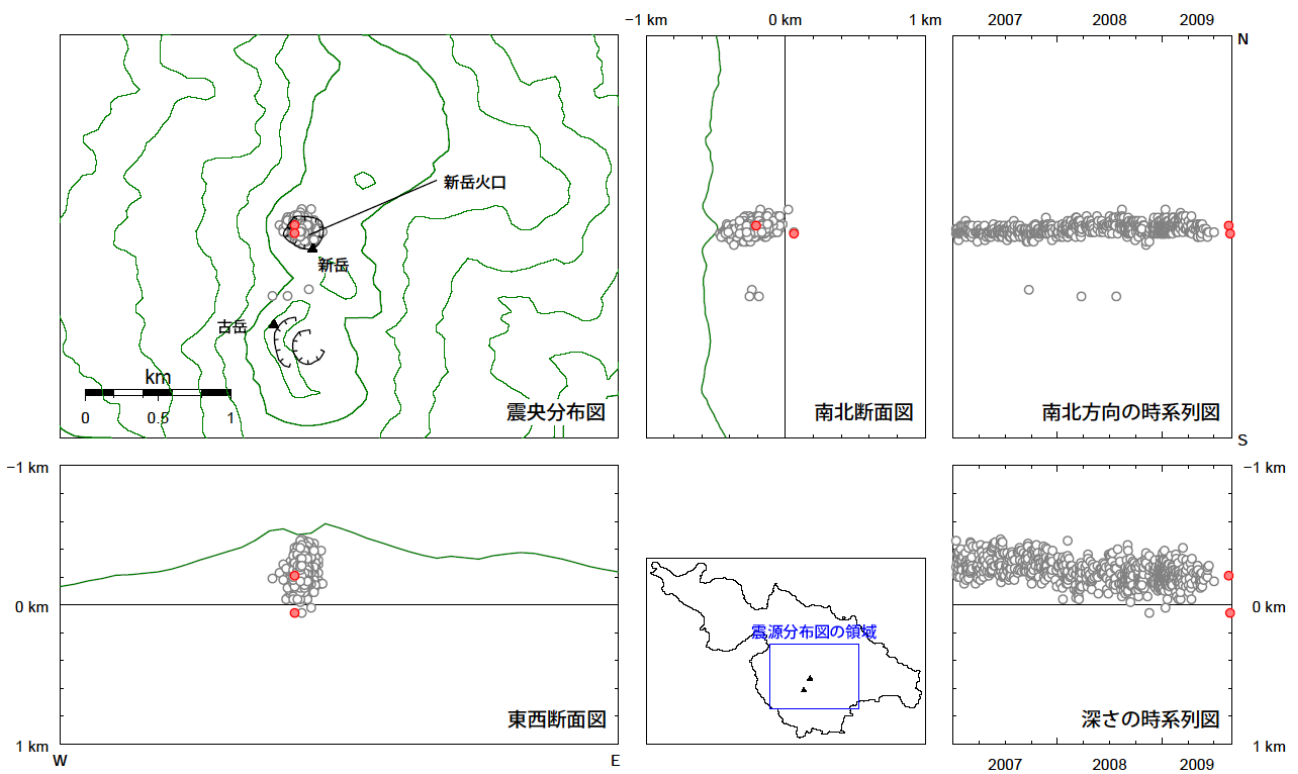


図 1 口永良部島 観測点配置図



- : 2009 年 8 月の震源
- : 2007 年 1 月～2009 年 7 月の震源

図 2※ 口永良部島 震源分布図（2007 年 1 月～2009 年 8 月）

< 8 月の活動状況 >

火山性地震の震源はこれまでと同様、新岳火口直下のごく浅いところに分布しました。

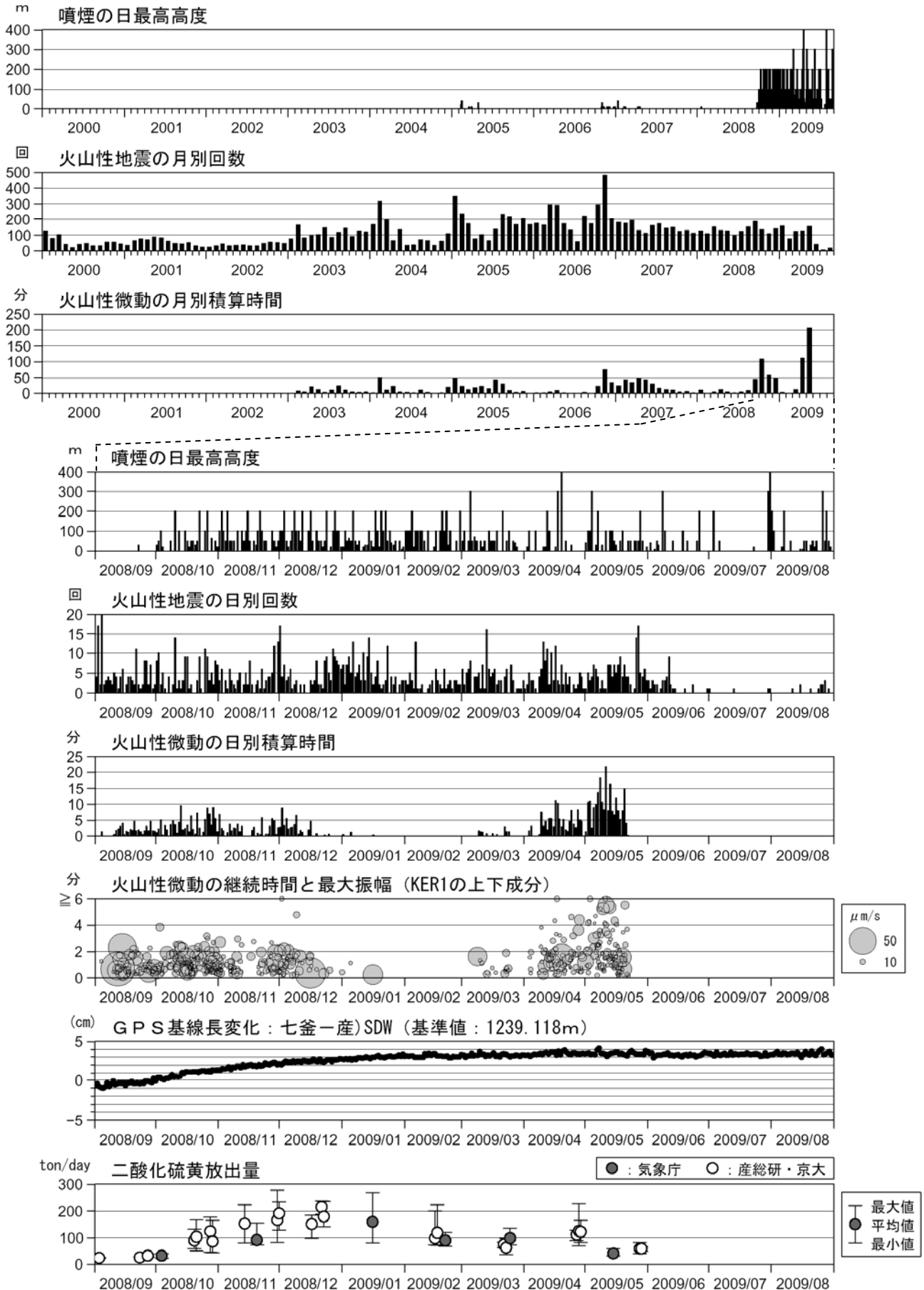


図3※ 口永良部島 火山活動経過図 (2000年1月~2009年8月)

< 8月の活動状況 >

- ・新岳火口から白色噴煙が時々観測されました。
- ・火山性微動は観測されませんでした。
- ・火山性地震は少ない状態で経過しました。

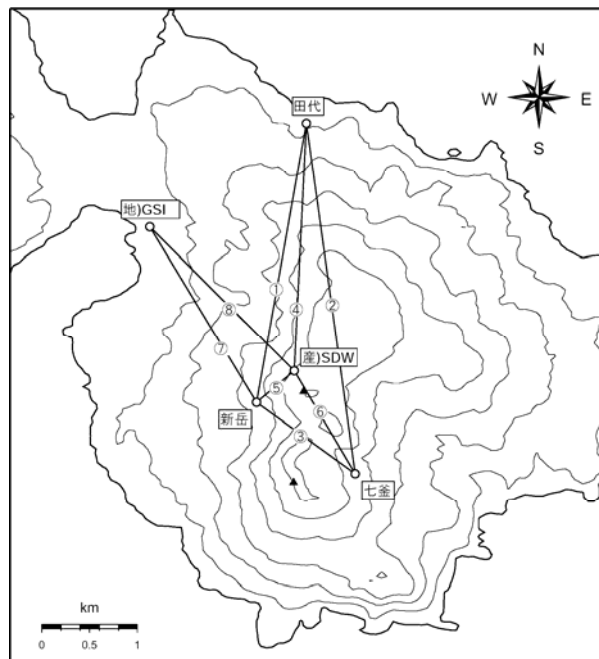
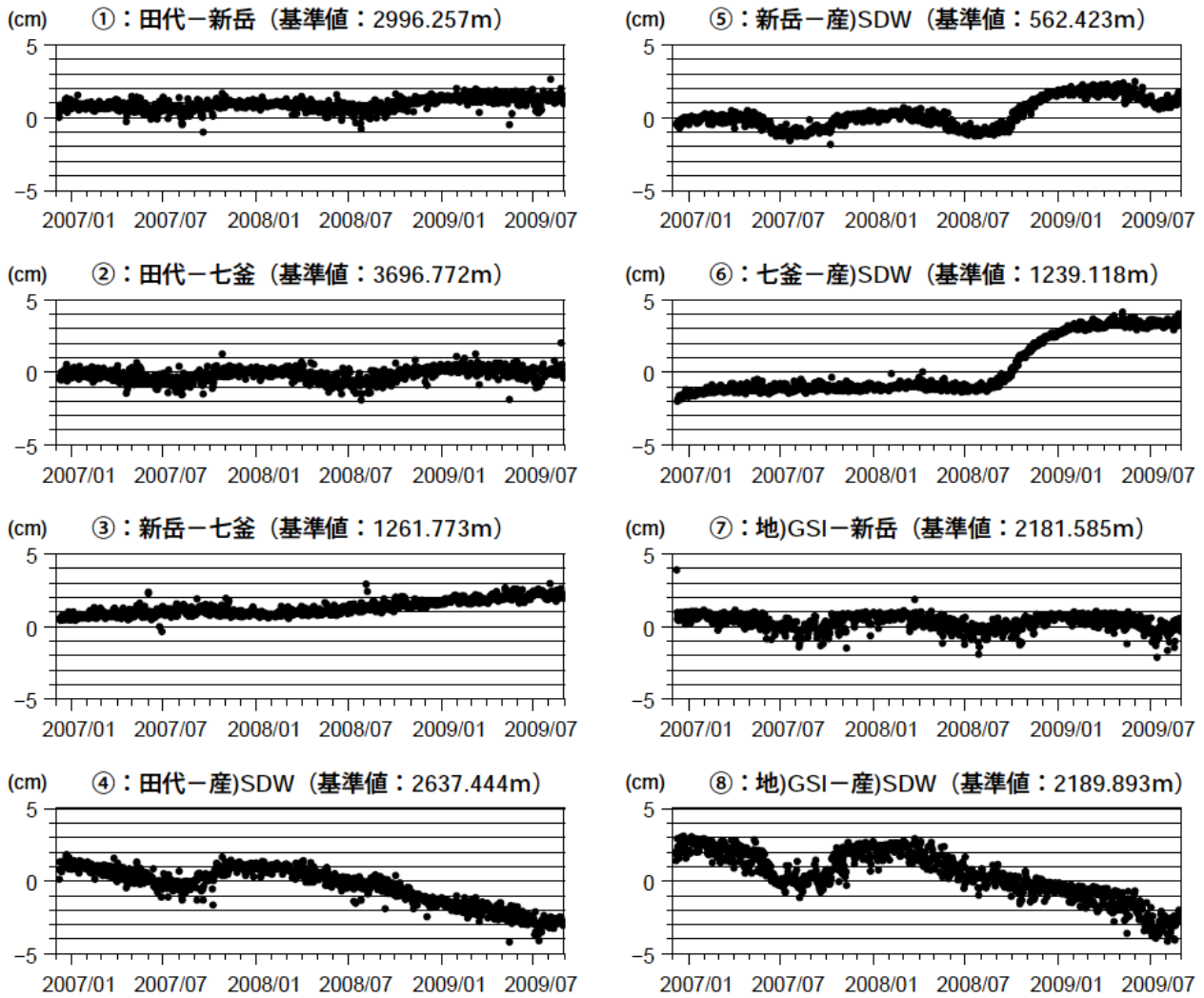


図 4※ 口永良部島 GPS 連続観測による基線長変化（2006 年 12 月～2009 年 8 月）
 2008 年 9 月から続いていた新岳火口浅部の膨張を示す変化は、2 月頃から鈍化し、6 月以降認められなくなりました。

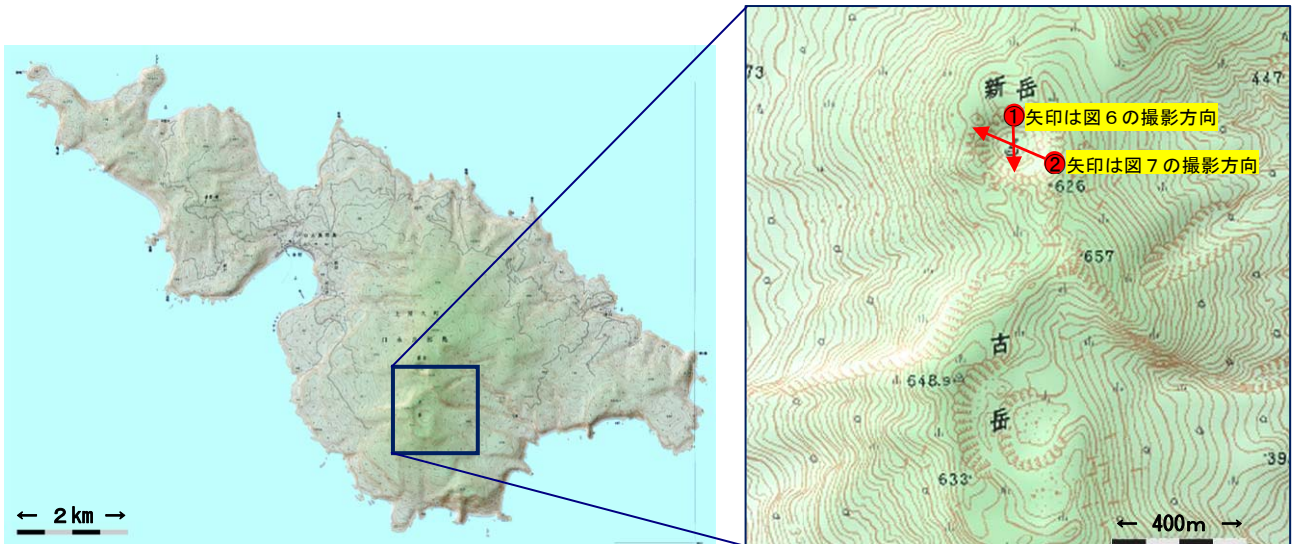


図 5 口永良部島 地表面温度分布観測点位置図

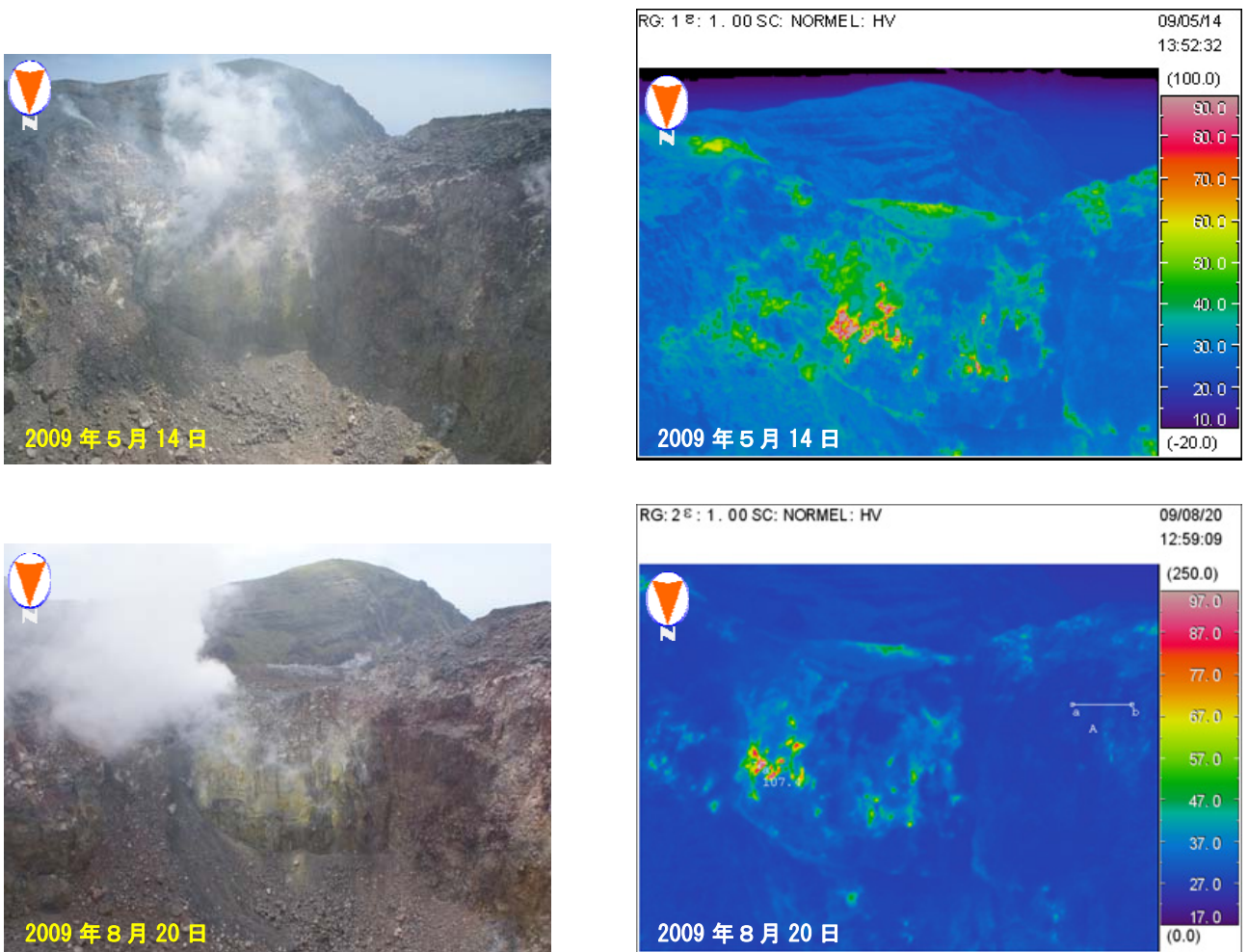


図 6 口永良部島 赤外熱映像装置¹⁾による新岳南側火口壁の地表面温度分布(図 5 の①から撮影)熱異常域の分布に特段の変化はありませんでした。

1) 赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を感じて温度分布を測定する測器です。熱源から離れた場所から測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

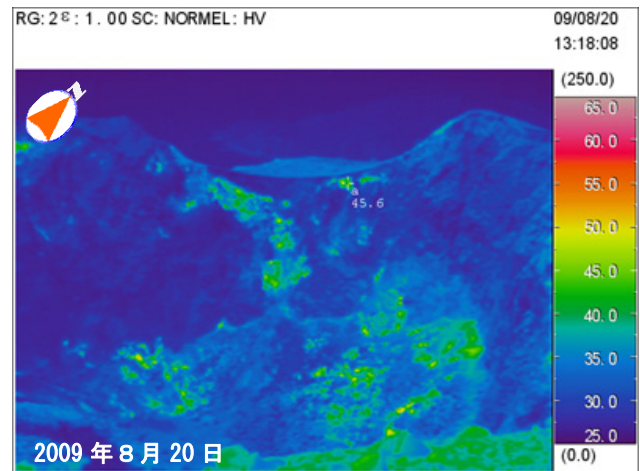
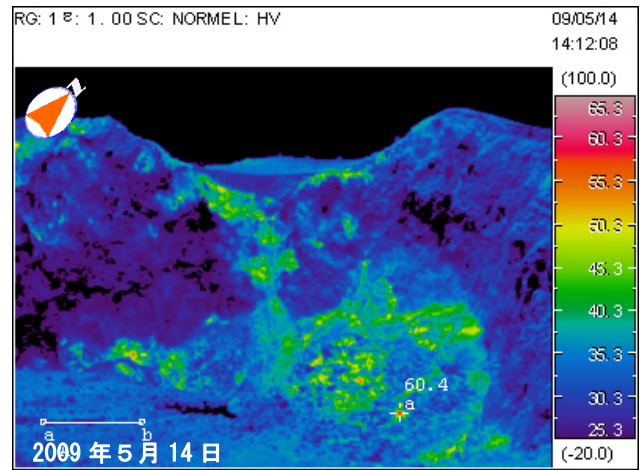


図7 口永良部島 赤外熱映像装置による新岳北西側火口壁の地表面温度分布（図5の②から撮影）
熱異常域の分布に特段の変化はありませんでした。

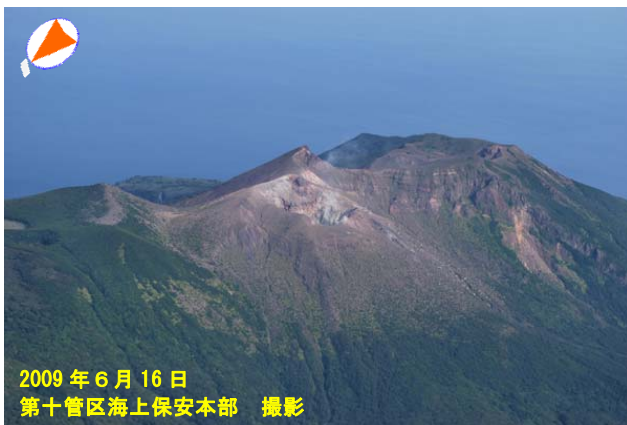


図8 口永良部島 上空から撮影した新岳火口及びその周辺の状況
24日に第十管区海上保安本部が実施した上空からの観測では、前回（6月16日）と比べて新岳火口及びその周辺の状況に大きな変化はありませんでした。